

12月5日（金曜日）

(第700号)

令和7年（2025年）

全木連時報



木材産業シンボルマーク

発行所

一般社団法人 全国木材組合連合会

所在地 東京都千代田区一番町25番地

☎ 03(6261)9140

URL <https://www.zenmoku.jp>

大会会場（大阪市中央公会堂）

第59回全国木材産業振興大会開催（大阪市）

全国から600名が参加

都市の木造化推進へ宣言
決議を採択

「木を活かして命輝く未来へ
～万博とともに～」をメイン
テーマに掲げた第59回全国木
材産業振興大会が、9月4日
(木) 大阪府の「大阪市中央公
会堂（国指定重要文化財）」に
おいて全国から約600名が
参加し開催された。



大会会長挨拶（菅野全木連会長）

第一部は、国歌斉唱の後、中
谷友紀和歌山県木協連会長の
開会の言葉、この一年間の物
故者に対する黙とうと続き、
実行委員会委員長の津田潮大
阪府木連会長から歓迎の挨拶
が行われた。続いて菅野康則
全木連会長による主催者挨拶、
来賓として出席された小泉進
次郎農林水産大臣（代理 小坂
善太郎林野庁長官）、中野洋昌
国土交通大臣（代理 大島敦仁
住宅局木造住宅振興室長）、吉
村洋文大阪府知事（代理 原田
行司環境農林水産部長）、横山
英幸大阪市長（代理 岩谷和代
経済戦略局理事）が祝辞を述べられた後に、参列された来賓が紹介された。続いて主議題に進み、熊川忠滋賀県木材
協会会長が大会宣言（別掲）を朗読し、満場一致で決議した後、菅野全木連会長による決
意表明が行われた。

第二部では、津田大阪府木
連会長による、万博での木材
利用など府木連の活動につい
ての報告と写真の大竹英洋

氏（第40回土門拳賞受賞）による『北米の湖水地方「ノースウッドズ』～未知の森にオオカミを探して～』と題した記念講演が行われた。大竹氏は人間と自然のつながりは何かを考え続けてきた人生について、動物の写真や遠吠えの声帶模写も使いながらお話しされ、軽妙な語り口に魅了されるうちに幕が下りた。

第三部の表彰式は、平方宏全木協連会長の挨拶、小坂善太郎林野庁長官の祝辞の後、退任団体長表彰、木材産業功労者表彰、協同組合事業功績者表彰が行われ、榎本長治前和歌山県木協連会長が受賞者を代表して謝辞を述べた。

次いで、次期開催地の菅野全木連会長、平方全木協連会長から挨拶（令和9年10月29日、東京都開催）が行われ、野村俊彰兵庫県木協連会長が

閉会の言葉を述べて、盛会のうちに終了した。

懇親会は、約450名が参加して、鏡割りに始まり、サンバなど趣向を凝らした中で盛大に行われた。また、第二部の司会を務めた「2025ミス日本みどりの大天使」の佐塚こころさんも、ドレス姿で花を添えた。



歓迎の挨拶（津田大会実行委員会委員長・大阪府木連会長）

第59回全国木材産業振興大会

木を活かして命輝く未来へ～万博とともに～

宣言決議

木材利用の拡大は、森林・林業の活性化のみならず地球温暖化防止、地方創生、国土強靭化などを通じ、豊かな暮らしや脱炭素社会の実現に大きく貢献するものであり、森林資源が充実しつつある中、「伐って、使って、植えて、育てる」という資源の循環利用の確立が重要な課題である。

全国各地で木造施設等が数多く建設されるようになり、都市部の建築物の木造化・木質化が進み始めている。これは木材を優先して活用する‘ウッドファースト社会’の実現に向けて、政府、与党、経済界に訴えてきた我々の活動の成果と認識している。

このような中、「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」（通称：都市（まち）の木造化推進法）の施行により、関係者の信頼に基づく安全・安心な木材の安定供給体制の構築、都市の木造化・木質化の取組が官民を挙げて加速化する一方で木造住宅着工の減退が見られる。

また、「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律（通称：クリーンウッド法）の一部を改正する法律」が施行され、違法伐採の根絶に向けた更なる取組の強化が求められている。

今後、我々木材産業界は、合法性が確認された木材、持続性が確保された木材の利用の促進により山元に利益を還元し、再造林するための持続的な林業・木材産業の仕組み作りに率先して取り組むとともに、消費者・ユーザーの協力を得つつ、木造住宅はもとより、都市の木造化を推進し、木材利用を国民運動として展開を図っていくことが重要である。

そのため、次の事項について、経済界など多様な関係者の連携の下に英知を結集して行動する。

1. 木材の需要の回復を目指して、住宅・非住宅の建築物への木材利用を積極的に働きかけるとともに、国民理解の醸成に取り組む。
2. 新たな木材需要を創出するため、JAS製品等、品質・性能の確かな木材供給や技術開発・普及等に取り組む。
3. 持続性の確保された木材の利用及び山元への利益の還元と再造林できる体制の構築に森林・林業、建築業界と一体となって取り組む。
4. 人材の育成確保を図り、木材産業従事者の労働安全に全力を挙げ、死亡災害絶滅に取り組む。
5. クリーンウッド法を遵守し、合法伐採木材だけが流通・利用されるように取り組む。
6. 木材産業振興のため、「森の国・木の街プロジェクト」や木造住宅の新築促進の施策などの予算の拡大、税制特例措置の拡充に取り組む。

以上、決議する。

令和7年9月4日
第59回全国木材産業振興大会



来賓祝辞
(林野庁長官 小坂善太郎)



表彰式挨拶
(全国木材協同組合連合会会長 平方 宏)



開会の言葉
(和歌山県木材協同組合連合会会長 中谷友紀)



来賓祝辞
(大阪市経済戦略局理事 岩谷和代)



来賓祝辞
(大阪府環境農林水産部部長 原田行司)



来賓祝辞
(国土交通省住宅局木造住宅振興室長 大島敦仁)



現地報告 (大阪府木材連合会会長 津田 潮)



大会宣言
(滋賀県木材協会会長 熊川 忠)



全木連退任団体長感謝状



記念講演
(写真家 大竹英洋氏)



全木協連退任団体長感謝状



代表謝辞
(前和歌山県木材協同組合連合会会長 榎本長治)



全木連会長賞
(代表者：杵岡兵庫県素材生産組合組合長)



全木連会長賞
(代表者：寺崎（一社）平林会理事)



全国木材協同組合連合会会長
(平方 宏)



次期開催地挨拶
((一社)全国木材組合連合会会長 菅野康則)



代表謝辞



大会司会（第2部）
(2025ミス日本みどりの大使 佐塚こころ)



大会司会（総合）
(牧香代子)



閉会の言葉
(兵庫県木材業協同組合連合会会長 野村俊彰)



懇親会 鏡割り



懇親会 乾杯（小坂林野庁長官）

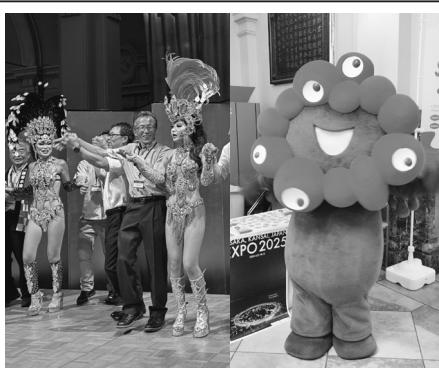
☆木材利用促進のため、大勢の参加で大会を盛り上げよう！

第60回全国木材産業振興大会（東京大会）

期日…令和8年10月29日（木）
場所…浅草ビューホテル
東京都台東区西浅草
(懇親会…同会場)



大阪万博 大屋根リング



懇親会の様子

宮 青 北 海 道
城 森 道

○全木連会長表彰状

木材産業功労
表彰者名簿
(敬称略)高 最 家
橋 上 常
和 尚
宏 猛 詞愛 岡 島 和 東 神 山
媛 山 根 山 京 奈 川 形鹿 児 島 愛 岡 和 山
(特非) 日本バーク堆肥協会 奥 田 哲 士

○全木連会長感謝状

前大会以降
退任団体長感謝状
名簿
(敬称略)菊 中 篠 榎 氏 栗 松
池 塚 原 本 橋 林 田
利 長 武 一
正 信 憲 治 史 郎 賢柴 菊 田 榎 栗 松
立 池 中 本 林 田
鐵 哲 信 長 一
彦 正 行 治 郎 賢徳 広 岡 和 奈
島 島 山 山 良大 三 愛 静 岐 長 石 富 新
阪 重 知 岡 阜 野 川 山 潤東 神 千 埼 群 福 秋
京 川 葉 玉 馬 島 田

柿原 大岡 上川 中近柳 千寺村 小杉 余加伊岡 各池 笹谷 澤二 奥岡 大西 向栗 矢小塚 星 鈴瀬
 原本野 市崎 西藤 下葉崎 上仲 本吾 藤藤山 務田 崎田 田宮 村部 渕川 殿林 部池 越野 木川
 豊幸 昌悠 恭康 利清 敦剛 貴 幹壯 秀勝 彰信 聰千紀 喜雅 永孝 哲長 一愼 文基 正昌 貴
 茂弘 治好 司弘彦 子史 司史顕 進雄 一司 久宏 彦寿 城幸朗 宏徳 明治 生敏郎 一喜 志徳 一志

大 愛 広 岡 和 奈
分 媛 島 山 山 良

兵 三 愛 静 岐 長 石 富 新
庫 重 知 岡 阜 野 川 山 潤

東 栃 宮 岩 手

○全木協連会長表彰状
(敬称略)
協同組合事業
功績表彰者名簿

大 香
分 川

田 佐
中 伯
敬 慶
一 郎

五 安藤 萩石 塩澤 木耕 泉梅峰 山大曾 原田 林関 林山 佐安川
 島部 井原川 見野 原岡 谷野 口森我 口野 口藤倍邊
 幸賢 博康 和浩 浩 諸雅 真昌 良直 省守 紀真好 和三千
 典一 規博 重文 誠則 望人 和晋 雄記 久則 幸吾 康尚 右昭 明

林業信用保証のご案内



- 林業・木材産業を営む方^(注1)であれば、どなたでもご利用が可能^(注2)です。
- 保証料率は財務内容により、年0.15%から1.80%が適用されます。
- 仕入れや人件費の支払い、加工設備の導入等の事業資金全般が対象です。
- 都道府県が無利子や低利で貸し付ける「制度資金」への保証も可能です。



注1：造林・育林、素材生産、木材・木製品製造、
林業種苗生産、薪炭生産、きのこ生産、
木材卸売等、木材製品利用が対象です。

注2：ご利用には融資機関様を通じた審査があります。
是非、一度、融資機関様にご相談ください。

詳しくはこちらへ
独立行政法人農林漁業信用基金
林業信用保証管理部 Tel03-3434-7825
<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html>



全木連・全木協連

臨時総会開催

(一社)全国木材組合連合会、(一社)木材産業退職金共済会の臨時総会・理事会が、11月18日（水）、木材会館（東京都江東区新木場）で開催され、全国から会員が参加した。総会

に先立ち、午前に正副会長会議が開催され、総会の進め方等について議論が行われた。全木連では、臨時総会において役員（理事）の選任、令和7年度業務執行状況報告について決議が行われ承認された。

の国・木の街」つくり宣言について、また、難波良多木材利用課長から米国の関税政策（木材関連）の説明が行われた。

非住宅建築における窓枠や内装・建具・家具などへの木材利用や木材輸出などを拡大するための施策を強化すること。

○外国産木材に対する競争力を強化するため、省人化や効率化、木材製品の付加価値

開発技術の普及、製造設備の導入を支援すること。

○花粉症対策の推進に重要なスギ材の需要拡大の施策を拡充・強化するとともに、花粉の少ない苗木の再造林が確実に実施され、花粉症の説明

令和7年度補正予算、 令和8年度予算等に關 する要望活動

装・建具・家具などへの木材利用や木材輸出などを拡大するための施策を強化すること。

○外国産木材に対する競争力を強化するため、省人化や効率化、木材製品の附加価値向上させる木材加工施設の開発・整備、需要情報に応じて生産・供給を管理するDX技術の導入、これらの担い手人材の確保・育成についての支援を拡大すること。

○木材価格は需給に基づく相場で上下しており、需要不足の現在、坦々手の給予改善

○花粉症対策の推進に重要なスギ材の需要拡大の施策を拡充・強化するとともに、花粉の少ない苗木の再造林が確実に実施できる支援策を講ずること。

○防災庁の整備に合わせ、南海トラフ地震など今後の自然災害発生の際の建設仮設住宅住み続けられる災害公営住宅等を迅速かつ効果的に整備するため、国産材による木造仮設、災害公営住宅を推進し、開発技術の普及、製造設備の導入を支援すること。

前に正副会長会（）、総会の進め方、行状況報告についての選任、令和3年臨時総会において役員（理事）の選任、理務理事の選任、令和7年度中間事業報告が行われ、承認された。木退共では、臨時総会において役員（理事）の選任、令和7年度業務執行状況報告が行われた。

了後、情報交換会を開催し、林野庁の福田淳木材産業課長から林野庁からの情報提供（森林・林業基本計画の変更に向けた検

の国・木の街」づくり宣言)について、また、難波良多木材利用課長から米国の関税政策(木材関連)の説明が行われた。

続いて、国土交通省の大島敦仁住宅生産課木造住宅振興室長から住宅性産業政等の最新の動向について説明が行われた後、質疑応答に移り、活発な意見交換が行われた。

非住宅建築における窓枠や内装・建具・家具などへの木材利用や木材輸出などを拡大するための施策を強化すること。

○外国産木材に対する競争力を強化するため、省人化や効率化、木材製品の付加価値向上させる木材加工施設の開発・整備、需要情報に応じて生産・供給を管理するDX技術の導入、これらの担い手材の確保・育成についての支援を拡大すること。

○木材価格は需給に基づく相場で上下しており、需要不足の現在、担い手の給与改善、物流費の増大、電気代等の高騰などによるコストアップを価格に転嫁できないでいる実態に即し、取適法の運用の着実な定着を図るとともに、合理的な費用が考慮された適正な価格形成を促す施策を講ずること。

○改正建築基準法等の施行を踏まえた住宅の環境性能耐震性能の確保や非住宅建築物の普及拡大にとって重要であるJAS構造材の普及、生産、供給の拡大を促していくため、JAS認証の取得やJAS材の利用拡大に向けた支援を拡大すること。

○花粉症対策の推進に重要なスギ材の需要拡大の施策を拡充・強化するとともに、花粉の少ない苗木の再造林が確実に実施できる支援策を講ずること。

○防災庁の整備に合わせ、南海トラフ地震など今後の自然災害発生の際の建設仮設住宅住み続けられる災害公営住宅等を迅速かつ効果的に整備するため、国産材による木造仮設、災害公営住宅を推進しその建築部材や木造住宅ユニットの備蓄を促進する対策を講ずること。



了後、情報交換会を開催し、林野庁の福田淳木材産業課長から林野庁からの情報提供（森林・林業基本計画の変更に向けた検

事業報告が行われ、承認された。木退共では、臨時総会において役員（理事）の選任、令和7年度業務執行状況報告が行われた。

令和7年11月20日（金）、菅野康則全木連会長並びに平方宏全木協連会長一行は、自民党の国會議員（32名）、農林水産副大臣、林野庁長官、国土交通省住宅局長に対し、木材需要の拡大、供給力の強化を確実にするため、下記の事項

物流費の増大、電気代等の高騰などによるコストアップを価格に転嫁できないでいる実態に即し、取適法の運用の着実な定着を図るとともに、合理的な費用が考慮された適正な価格形成を促す施策を講ずること。

、菅野全木連会長、
ツトの備蓄を促進する対策を
講ずること。

（要望の内容）

○改正建築基準法等の施行を踏まえた住宅の環境性能、

左：協連会長
右：（昭二）



要望活動（左から平方全木協連会長、菅野全木連会長、
根太副士匠、大郷副会長）

討状況について、林業・木材産業における適正取引推進ガイドラインについて、木材産

な運用を始めとした二酸化炭素排出ネットゼロ達成に寄与する都市の木造化・木材利用

中高層・中大規模木造建築物への木材利用拡大のため耐火性能や防火性能、耐震性

○上記の施策を実施し、木材需要の拡大、供給力の強化を確実にするため、国産木材関連、木造建築関連の予算規模の拡大をお願いいたします。

令和7年度木材利用 推進コンクール表彰 式の開催

木材利用推進中央協議会は、木材利用分野の拡大や特色ある木材利用に資する施設等を対象としてコンクールを開催し、優良な木造・木質化施設等を表彰してきた。

本年も多数の素晴らしい作品・取組を表彰する式典が令和7年10月28日（火）、木材会館（東京都江東区）において開催され、会場に約130名が参加した。「優良施設部門」においては、内閣総理大臣賞をはじめ、農林水産大臣賞、文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、林野庁長官賞など5企業が表彰され、それぞれの受賞者と授与者による記念写真的撮影が行われた。なお、「優良施設部門」では、表彰式での特賞表彰のほかに優秀賞31作品を決定している。



表彰式

(内閣総理大臣賞：授与者は広瀬農林水産大臣政務官（中央）)



表彰式の様子

受賞施設等

〈優良施設部門〉

○内閣総理大臣賞（1点）
NISHIGAWA TERRACE（岡山県岡山市）



○農林水産大臣賞（1点）
パツシブタウン第5街区（富山県黒部市）



〔文部科学大臣賞（1点）〕

○六戸町立義務教育学校六戸学園（青森県上北郡六戸町）



○CREVAおおくま（福島県双葉郡大熊町）



〔環境大臣賞（1点）〕

○自然循環型CLT & ZEBオフィスビル（兵庫県姫路市）



○林野庁長官賞（3点）
キャプシソ by Hyatt（東京・中央区）





○エバーフィールド木材加工場
(熊本県上益城郡甲佐町)



○高槻城公園芸術文化劇場(南館)
(大阪府高槻市)

○賞(3点)	○口一木造仮設住宅(石川県珠洲市)
○島県	○まきのさんの道の駅・佐川(高知県高岡郡佐川町)
○新丹生谷製材協同組合(徳島県)	○八女市庁舎(福岡県八女市)
○株式会社板毛木材工業(板木県)	○2025年日本国際博覧会CREATIVE LAB(東京都中央区)
【木材利用推進中央協議会会长賞(2点)】	○戸と建設オフィス TODA
○株式会社セブン-イレブン・ジャパン(東京都)	○大屋根リノグ(大阪府大阪市)
○株式会社さつまファインウッド(鹿児島県)	○福岡県酒造組合会館(福岡県福岡市)
【木材利用推進部門】	○小浜ヴィレッジ(鹿児島県霧島市)
【農林水産大臣賞(1点)】	○2025年日本国際博覧会CREATIVE LAB(東京都中央区)
○三井ホーム株式会社(東京都)	○戸と建設オフィス TODA

景況調査

令和7年10月分集計表

() 内は実数

モニター数156 回答92 回収率59%

〔流通部門〕

・当月の状況

販売量	増加27% (24)	変わらず52% (47)	減少21% (19)
仕入量	増加20% (20)	変わらず59% (53)	減少19% (17)
販売価格	上昇6% (5)	変わらず93% (84)	下降1% (1)
仕入価格	上昇8% (7)	変わらず92% (83)	下降0% (0)

・来月の見通し

販売量	増加22% (20)	変わらず69% (62)	減少9% (8)
仕入量	増加21% (19)	変わらず69% (62)	減少10% (9)
販売価格	強含み7% (6)	保ち合い93% (84)	弱含み0% (0)
仕入価格	強含み9% (8)	保ち合い90% (81)	弱含み1% (1)

3ヶ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	16% (10)	78% (49)	6% (4)
南洋材	12% (6)	86% (43)	2% (1)
北洋材(欧州材を含む)	19% (11)	74% (42)	7% (4)
国産材	10% (8)	82% (65)	8% (6)
建材	25% (14)	67% (37)	7% (4)

・プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	37% (22)	58% (34)	5% (3)

〔製造部門〕

・当月の状況

販売量	増加26% (19)	変わらず59% (43)	減少15% (11)
仕入量	増加21% (15)	変わらず63% (46)	減少16% (12)
販売価格	上昇8% (6)	変わらず90% (66)	下降1% (1)
仕入価格	上昇15% (11)	変わらず82% (60)	下降3% (2)

・来月の見通し

販売量	増加20% (15)	変わらず73% (54)	減少7% (5)
仕入量	増加23% (17)	変わらず70% (52)	減少7% (5)
販売価格	強含み7% (5)	保ち合い92% (68)	弱含み1% (1)
仕入価格	強含み18% (13)	保ち合い80% (59)	弱含み3% (2)

3ヶ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	17% (4)	70% (16)	13% (3)
南洋材	13% (2)	80% (12)	7% (1)
北洋材(欧州材を含む)	21% (4)	74% (14)	5% (1)
国産材	15% (11)	69% (50)	15% (11)

・プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	42% (13)	42% (13)	16% (5)